2024年度 7月号 明石市立幼稚園 給食だより

梅雨が明けると夏も本番です。この時期は急に暑くなるために食欲が低下 して水分ばかり摂りがちです。暑さ対策をしっかり行い、暑い夏を乗り切り ましょう!

七夕に由来する食べもの

7月7日(日)は七夕です。七夕といえば、そうめんをイメージされる方も 多いのではないでしょうか。

七夕にそうめんを食べるようになっ た由来は諸説ありますが、「機織りが

上手な織姫にあやかり、そうめんを織物の糸に 見立てて手芸や芸事の上達を願う」、「そうめんを天の川に見 立てる」、「索餅(さくべい)という小麦の揚げ菓子を 7 月 7 日に食べることで無病息災を願う中国の風習に由来する」な どと言われています。

7月5日(金)の給食

七夕の天の川にちなみ、星のかたちをした コロッケを提供します



味噌の種類

味噌は、主原料である大豆を煮たり蒸した りしてやわらかくしたものに、麹(こうじ)と 食塩を加えて発酵、熟成をさせた調味料です。

麹の種類によって、麦味噌、豆味噌、米味噌 などに分類することができます。

七夕のおはなし

七夕の伝説は、こと座のベガ(織姫)、わし座のアルタイル(彦星)と天の川を題材とした 中国の神話です。

天の川には、機織りの上手な織姫と、牛飼いの彦星が住んでいました。どちらも働き者で、 天の神様は二人を結婚させました。ところが、結婚すると二人は遊んでばかりで働かなくなってしまいました。織姫が機織りをしないので神様の衣服はボロボロになり、彦星が世話をしていた牛たちはやせ細っていきます。これに怒った神様は、天の川の端と端に織姫と彦星を追いやり、二人を離れ離れにしてしまいます。二人は悲しみに明け暮れ、可哀そうに思った神様は、一年に1回の七夕の日にだけ、二人が会うことを許しました。

7月 10日(水)愛知県郷土料理 みそかつ

みそかつは、とんかつに味噌をベースとしたたれをかけた郷土料理です。 愛知県を含む東海地方では豆味噌が多く生産されており、みそかつは 戦後間もない昭和 40 年代から提供され始めたと言われていますが、 発祥の由来ははっきりしていません。



麦みそ

- ◆大豆に麦麹を加えて作ったもの
- ●九州、四国、中国地方が主な生産地

豆みそ

- •大豆のみを原料としたもの
- ●東海地方が主な生産地

米みそ

- •大豆に米麹を加えてつくったもの
- •全国各地で生産されている

明石市こども育成室(2024.6)